ハッカソン前期実施要項
SEO×岡山専各

【目的】
学生がチームで課題解決に取り組むことにより、企画力、設計力、開発力、プレゼンテーション力およびコミュニケーション力を実践的に養うことを目的とする。
また、企業メンターとの交流を通じて実務に近いフィードバックを受ける機会を提供し、社会で求められるIT人材の育成を図るとともに、地域産業との連携強化を目指す。

【メンター企業】
一般社団法人システムエンジニアリング岡山　加盟企業

【参加校】
岡山情報ビジネス学院
日本ITビジネスカレッジ
中国デザイン専門学校

【テーマ】
エコツーリズム推進
　＋多言語対応観光サイト:
　　訪日外国人向けに、英語・中国語・韓国語などで岡山の魅力を発信するサイト
　　環境に配慮した観光スポットやアクティビティを紹介し、
　　持続可能な観光を促進するサイト

【成果物】
・多言語対応の観光Webページ（LPサイト等）
・写真、動画、記事によるコンテンツ
・必要に応じてシステム企画書、設計書、UI/UXモックアップ等

【チーム編成】
学生による混合チームを編成する。
各チームには企業メンターを配置し、必要に応じて技術的助言および進行支援を行う。

【日程】

課題発表	：6 月 26 日	オンライン
チーム編成	：7 月 10 日	オンライン
メンター紹介	：7 月 24 日	オンライン
中間発表	：9 月 11 日	オンライン
発表準備	：9 月 25 日	岡山情報ビジネス学院
リハーサル	：10 月 17 日	岡山情報ビジネス学院
最終発表会	：10 月 23 日	岡山情報ビジネス学院

【使用するツールについて】

・コードエディタ：自由

・WordPress 等の CMS は使わない

・デザインツール：自由（ただし、データのやり取りはチーム内のメンバーが利用可能なファイル形式とする）

・AI ツールの使用：可能（ただし、使用箇所は発表時に明示し、どのように活用したかを説明すること。）

【成果物の公開方法】

- チームメンバーの GitHubPages で公開（発表時または一定期間）
- コード共有も GitHubPages を推奨。（但し、使用できない学生もいるためサポートをお願いいたします。）

【OIC（岡山情報ビジネス学院）学生利用環境について】

・Illustrator、Photoshop、 Figma 等は日本人学科は使用可能です。

・留学生につきましては、HTML、CSS、JavaScript、Canva は使用できます

【JIBC（日本 IT ビジネスカレッジ）学生利用環境について】

・Illustrator、Photoshop 等の Adobe ツールはアカウントなしのため基本的に使えません（個人契約している学生は除く）。

・授業でのデザインツールは、Canva を利用しています。

・Figma も現時点では授業で扱っていないので使える学生はほとんどいません。

・1 年生は HTML、CSS は使えます。2 年生は HTML、CSS、JavaScript、PHP は使えます。

【作業時間】

・連絡時間

8時〜20時を目安に　（夜遅くや早朝の連絡は避けるよう学生へ指導）
（就業時間外などの場合は翌日にご対応いただいて構いません。）
土日はなるべくさける。
・メンターへの連絡はリーダーがおこなう。

【リアルで集まる場合】
OIC,JIBC 共に：ハッカソンの活動は公欠として対応可能。事前に先生と相談が必要。
（リアルに集合する場合、時間等の制限は特にありません。）
・OIC,JIBC 共に教室利用可能。事前に学生から各学校の先生へ連絡を。

【定期連絡について】
各チームのリーダー又はサブリーダーは進捗状況をメンター、各学校の先生へ報告。
〇メンターへの報告方法：各連絡ツールから報告
メンターから連絡がきた場合、すぐに答えられなくても、なにかしらの返事は返す（学生）「確認してまた連絡します。」等
〇学校への連絡方法：Google フォーム　https://forms.gle/yFk6DbP1FkGk2xUF6
報告方法：2 週間に 1 回（チームリーダーが行う。）
報告日：第 1 月曜日、第 3 月曜日（8/18・9/1・9/15・10/6・10/20）

【メンターの役割、支援方針】
主体性を尊重しつつ、必要に応じてフォローをお願いいたします。
・定期的にチームと連絡をとりあい、進捗の共有を受けてください。
・学生が困っている様子があれば積極的に声をかけてサポートをお願いいたします。
・使用するツールや作業の方法について、チーム内での意識合わせを促してください。
（ツール等使ったことのない学生がいる場合はアドバイス等お願いいたします。）
・全体の方向性がずれていたり、進行が難航している場合は、アドバイスや、現実的な視点での指摘をお願いいたします。
・使用する技術やツールについても「どれを使えば進めやすいか」など助言をお願いいたします。

【最終発表会】
各チームによるプレゼンテーションおよび質疑応答を実施し、審査員による評価を行う。

審査の結果、最優秀賞・優秀賞を決定する。